

Rotary Club of TAKADA Report

国際ロータリー第2560地区  
 スローガン

ロータリーはステージ・  
 みんなが輝く！

高田ロータリークラブ  
 会長方針

ロータリーに共に参加し、  
 共に学び、共に楽しもう



2024-2025年度

国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック  
 第2560地区ガバナー 南雲博文  
 高田ロータリークラブ会長 飯塚宏佳  
 幹事 細野仁

広報・会報・雑誌委員会：  
 箕輪賢一 倉田 亮 阿曾 晋

## 第31回例会 4月25日(金)

No.31

### 会長挨拶 ●飯塚 宏佳



こんにちは。今週の火曜日に石倉実行委員長のもと、70周年記念式典  
 に関する委員会が行われました。スケジュールや役割分担など少しずつ  
 固まって来まして、いよいよ始動するのだなあと感じております。

今一番のニュースはトランプ関税に始まる日米交渉でしょうけれども、  
 前々回やったので今回は触れません。それよりも最近興味深いニュースが  
 あります。今月8日iPS細胞から作った心筋細胞を用いた「心筋シート」  
 について、心臓病患者へ移植する治験を進めていた大阪大学の澤芳樹特任  
 教授が参画するベンチャー企業「クオリプス」が、厚生労働省に製造販売  
 承認を申請したという事です。2020年1月に心不全の患者に心筋シ  
 ートを移植する手術を世界で初めて実施。23年3月までに患者計8人への  
 移植手術を完了し、安全性や症状の改善が確認されたとのことです。iPS  
 細胞と言えば山中教授率いる京都大学の研究グループによって200  
 6年に初めて作られ、2012年にノーベル賞を受賞したことで大変有名  
 になりました。20年足らずで此処まで進歩するのかと驚いていたのですが、14日には京大病院からも今年  
 2月、1型糖尿病患者にインスリンを分泌する複数のシートを移植安全性に問題がないことを確認したと発  
 表されました。そして17日には、やはりiPS細胞から、0.5ミリほどの肝臓のミニ臓器(オルガノイド)  
 を作製することに成功したと大阪大学の研究グループから発表され、末期の肝臓病患者の治療への活用が期  
 待できるとの事です。また23日には京都大iPS細胞研究所などのグループから、iPS細胞から作製した  
 腎臓のもととなる細胞(腎前駆細胞)を慢性腎臓病のマウスに移植したところ、腎機能の低下が抑制されたと  
 発表され、数年以内に臨床試験(治験)開始を目指すようです。

このように今次々と研究や臨床実験、商品化などに向け動いています。角膜にも応用されると思いますしお  
 そらく石田先生はより詳しい事でしょう。腎臓病や糖尿病などの治療方法もこれにより変わってくるの  
 ではないでしょうか？日々の飲み過ぎを反省しながらも医学の進歩により期待して、本日の会長挨拶を閉めた  
 いと思います。

本日の卓話は、上越教育大学 特任教授 中島秀晴様より「気づきからはじまる特別支援教育」です。ひょ  
 っとするとiPS細胞の研究が、この分野にも活用される日が来るかもしれません。皆様ご清聴よろしくお願  
 いします。

#### 出席報告

出席率 98.91%

#### 委員会報告

社会奉仕委員長：大船渡大規模火災義捐金報告  
 70,000円

#### 会員インフォメーション

高坂光一君：バナー交換報告(東京品川RC)  
 佐藤信明君：お花とお茶ときのかほりご案内

#### 幹事報告

配布物：週報No.30  
 報告：5/2と5/9は休会日、5/16 霜村年度新役員  
 理事委員長会議

卓話： 気づきからはじまる特別支援教育

国立大学法人上越教育大学 学校教員養成・研修高度化センター  
特任教授 中島秀晴様



特別支援教育は、2007年の学校教育法の一部改正によって、正式に位置付けられました。その理念は、障害の有無やその他の違いを認識しつつ、様々な人々が活躍できる共生社会の形成の基礎となることを目指しています。

従来の特殊教育は、個人の有する「障害」に着目し、できないことをできるようにすることが目的でした。しかし、現在では国際生活分類（2001）に基づき、個人の特性が周囲との関係の中で活動や参加が制約される状態を「障害」と理解しています。この「不適応状態」を生み出さないためには、本人の障害特性と周囲の環境の双方にアプローチする必要があります。

特に発達障害の特性は見えにくく、本人の困難さが理解されにくい傾向にあります。周囲の環境として必要なのは、彼らの暮らしづらさや学びづらさへの「気づき」です。障害の特性は薄いから濃いまで無段階のグラデーションであり、濃いほど困難さが大きくなる傾向にあります。人間の発達が連続体（スペクトラム）であることから、その特性は誰もが持っているものです。

いわゆる「普通」を前提とせず、個々の特性を多様性として認め合い、支え合う「共生社会」の実現には、本人への適切な支援と環境支援の相互関係が重要です。この共生社会は障害の有無に関わらず、すべての人にとって優しい社会であると確信しています。

特別支援教育の理念

学校教育法の一部改正（2007年）

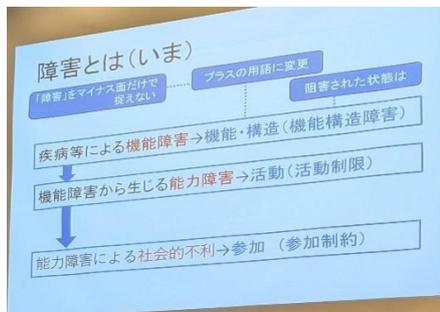
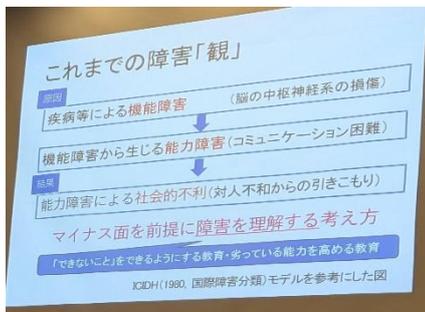
障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を克服又は改善するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの

対象の拡大

これまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、知的な遅れのない発達障害も含める。

さらに・・・

障害のある幼児児童生徒への教育にとどまらず、障害の有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎となるものであり、我が国の現在及び将来の社会にとって重要な意味を持っている。



社会奉仕委員長：大船渡大規模火災義捐金報告  
70,000 円



高坂光一君：メイクアップ・バナー交換報告  
4/24 東京品川 RC